

内々脱着手すりブラケットN 施工説明書

BF-27

内々脱着手すりブラケットNは手すりを向かい合った柱や壁に取付けて連続して取付けるための部材です。安全に使用して頂けるよう、またトラブルの無い確実な取付けをして頂くためにも、施工の際によくお読み頂き以下の事を必ずお守りください。

施工上の注意

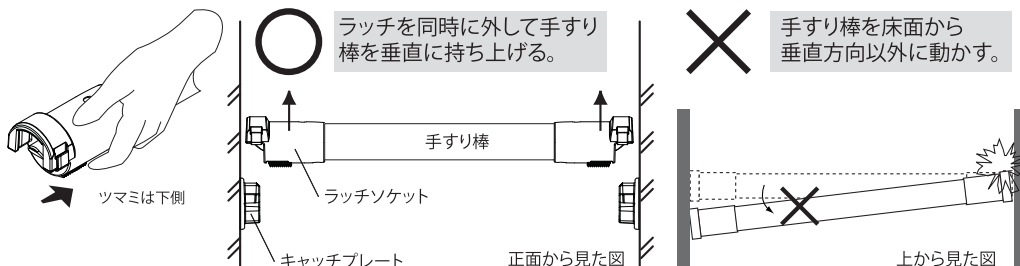
- 当製品は室内用です。屋外および浴室には使用できません。
- 木製手すりと連続してご使用される場合は必ず35シリーズ・32シリーズのブラケットをご使用ください。
- φ35、φ32手すり兼用です。φ35をご使用の場合は、予め嵌め込んであるφ32アダプターを取りはずしてご使用ください。
φ32をご使用の場合はφ32アダプター、スペーサーをご使用ください。
- φ32アダプター
- 35・32シリーズ木製手すり(ホワイトアッシュ)をご使用の場合、
取付け間口寸法は φ35の場合、900mm以内 で取付けてください。
φ32の場合、700mm以内
- 900mmより広い取付け間口寸法でご使用の場合は必ず当社指定の手すり棒をご使用ください。
・襖用脱着手すり棒 φ35、L=2000mm
- 下地の無い場合は下地補強をしてください。
- 階段などの傾斜部分にはご使用になれません。



!外開き扉部分に使用される場合は、閉じ込め事故等にご注意ください。
!この商品は手すり棒先端のラッチソケットがキャッチプレートに確実にセットされている時に強度が保持されます。キャッチプレートにセットされた時には、毎回確実にセットされていることをご確認ください。
!ケガ・床の破損・部品の破損の原因になりますので手すり棒の落下等には十分ご注意ください。

使用上の注意

- 手すり棒の取外しは、両側のツマミをスライドさせ、ラッチを解除してから垂直に持ち上げてください。
注)両側同時にラッチ解除する場合:ラッチを両側同時に解除して手すり棒を垂直に持ち上げてください。
注)片側ずつラッチ解除する場合:一方のラッチが掛かったまま、ラッチ解除した側の手すり棒先端を、垂直方向以外に動かさないでください。ブラケット破損につながります。
- 取付けは、手すり棒を上面から垂直にキャッチプレートに落とし込みます。ラッチで固定されます。両側のラッチがキャッチプレートに確実に入っていることを確認してください



お願い：施工後この施工説明書をお客様へお渡しください。

■内々脱着手すりブラケットN[BF-27] 梱包部品

1 ラッチソケット	2 キャッチプレート	3 φ32アダプター
		 ※出荷時はラッチソケットにセットされています。
4 ブラケット取付けねじ	5 手すり取付けねじ	6 金属手すり取付けねじ
※取付けの際には壁にφ3程度の下穴を空けてください。 ⊕丸皿タビ°ソねじ3.5×40	※取付けの際にはφ3程度の下穴を空けてください。 ⊕丸皿タビ°ソねじ3.5×20	※襖用脱着手すり棒専用 ⊕皿ドリルねじ3.5×19

■内々脱着手すりブラケットN[BF-27] 梱包部品一覧

番号	部品名	仕様	数量
1	ラッチソケット	アルミ合金 アクリル系樹脂焼付け塗装	2個
2	キャッチプレート	アルミ合金 アクリル系樹脂焼付け塗装	2個
3	φ32アダプター	A B S	2個
4	ブラケット取付けねじ	⊕丸皿タビ°ソねじ3.5×40	鉄製 6本
5	手すり取付けねじ	⊕丸皿タビ°ソねじ3.5×20	鉄製 4本
6	金属手すり取付けねじ	⊕皿ドリルねじ3.5×19	鉄製 4本

参照 ■手すりの使い方と取付け位置

*歩行時、手をそえて摺る様に使用する。

廊下

階段

*歩行中に動作が変わる場合に握って使用する。

出入口や上り框

トイレ

※寸法は目安ですので、使用される方の身長や体の程度により考慮して下さい。

■柱を探すには？

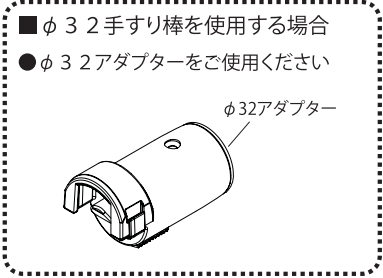
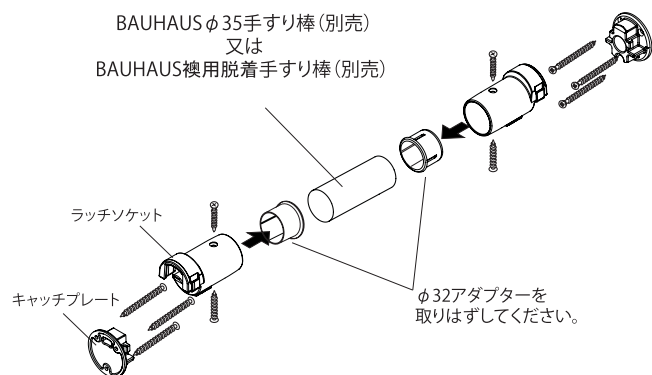
- 壁の両端には柱がありますので、そこを基準に左図の様に柱が入っている事が多く、軽くたたいてかえってくる音でだいたいの位置を確認します。
- 次に市販のピン式地探し機(又は、超音波式探知機)で正確な位置を確認して、手すりブラケットの取り付け位置を決めて下さい。

ピン式地探し機を使う場合

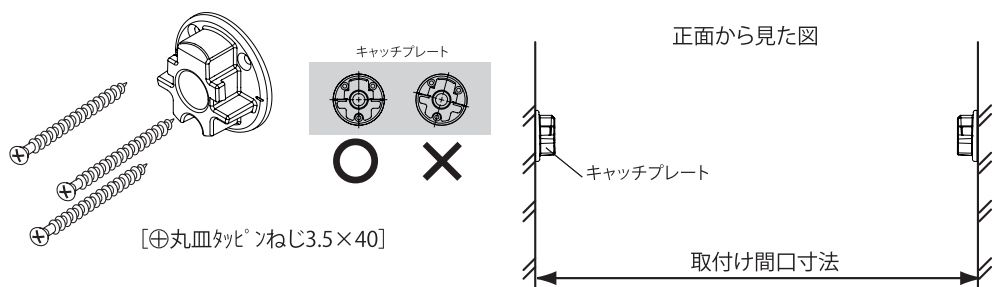
施工手順

お願い：施工後この施工説明書をお客様へお渡しください。

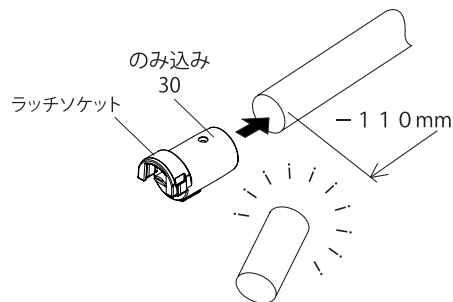
■ φ35手すり棒を取付ける場合



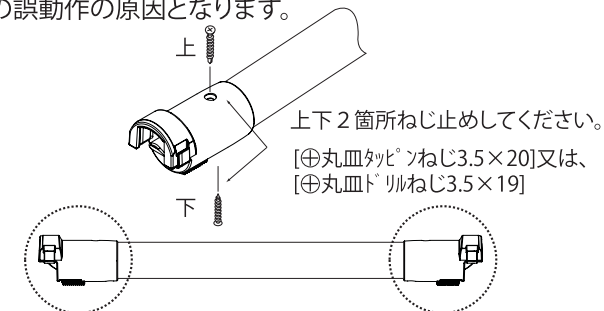
1. キャッチプレートを取付けます。
両側に取付ける高さなどの位置は同じにしてください。必ず上下位置を合わせ、ねじれ位置にならない様に止めてください。



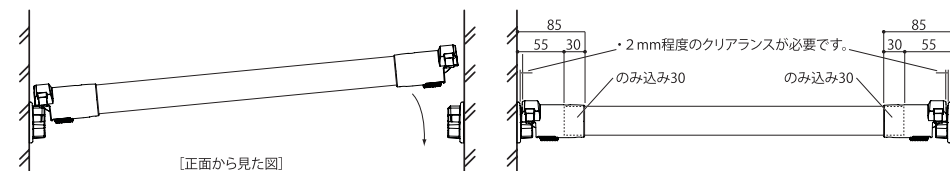
2. 手すり棒をカットします。
手すり棒長さ＝取付け間口から、－110mmカットします。



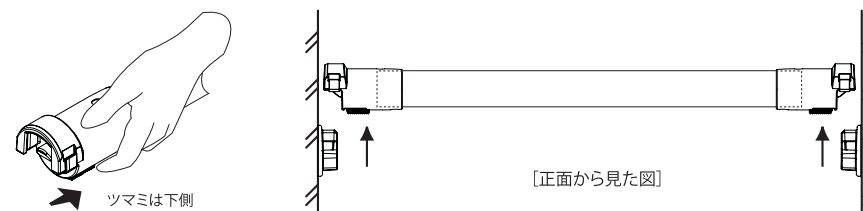
3. カットした手すりの両側にラッチソケットを差し込み、ねじ止めしてください。
(専用脱着手すり棒の場合はドリルねじを使用してください。)
注)両側のラッチソケットの上下位置を合わせ、ねじれ位置にならない様に止めてください。ラッチの噛み込みなどの誤動作の原因となります。



4. ラッチソケットが付いた手すり棒を取付けます。
手すり棒を上面からキャッチプレートに落とし込みます。ラッチにより固定されます。
両側のラッチがキャッチプレートに確実に入っていることを確認してください。



5. 各部品がしっかり固定されているか、ロックが掛かるか、動作確認を行ってください。
■取外しは両側のツマミを内スライドさせ、ラッチを解除してから持ち上げてください。



お問い合わせ先

マツ六株式会社
商品企画部
〒543-0051 大阪市天王寺区四天王寺1丁目5番47号
TEL.06-6774-2255 FAX.06-6774-2248
<http://www.mazroc.co.jp>